

ウィキペディア

三重県護国神社

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』



この記事は検証可能な参考文献や出典が全く示されていないか、不十分です。

出典を追加して記事の信頼性向上にご協力ください。（2017年8月）

三重県護国神社（みえけんごくじんじや）は、**三重県津市**にある**神社**（**護国神社**）である。

禁門の変・戊辰戦争から第二次世界大戦までの三重県関係の戦死者6万3百余柱を祀る。神紋は桜紋。

歴史

明治2年（1869年）、津藩主藤堂高猷が、戊辰戦争で戦死した藩士の霊を祀る小祠を津八幡宮の境内に建て、「表忠社」と称したのに始まる。明治8年に官祭の招魂社となり、明治42年に現在地に遷座、昭和14年（1939年）に三重縣護國神社に改称した。第二次世界大戦後「三重神社」に改称していたが、日本が主権を回復した昭和28年に元の社名に復した。

昭和20年の空襲で本殿・神饌所以外の建物を焼失した。昭和32年に本殿も含めて新たに社殿を造営した。

周辺

- 偕楽公園
- 東海農政局三重農政事務所
- 三重県庁舎
 - 三重県議会議事堂

外部リンク

- 三重県護国神社 (<http://www.mie-gokoku.or.jp>)（公式サイト）

三重県護国神社



所在地	三重県津市広明町387
位置	 北緯35度10分46秒 東経136度53分59秒
主祭神	国事殉難者
社格等	内務大臣指定護国神社・別表神社
創建	明治2年（1869年）
例祭	4月21日・22日 10月21日・22日

- [三重県護国神社応援団 \(https://miegokoku.jimdo.com\)](https://miegokoku.jimdo.com)

「<https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=三重県護国神社&oldid=65451364>」から取得

最終更新 2017年9月11日 (月) 01:22（日時は個人設定で未設定ならばUTC）。

テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は[利用規約](#)を参照してください。